学校番号	T3017

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	現代社会　（改訂版）（山川出版社）						
副教材等	標準高等地図　－地図でよむ現代社会－　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 他教科とのかかわりなどもふまえて考える。
- マスメディアの情報を取捨選択できる能力を身につけ、自ら考える力を持つ。
- 民主主義の意義を考察し、客観的に物事を判断できるようにする。

２　学習の到達目標

広い視野に立って，民主主義の本質に関する理解を深めさせ，現代における政治，経済，国際関係などについて客観的に理解させるとともに，それらに関する諸課題について主体的に考察させ，公正な判断力を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め，意欲的に課題を追究するとともに，社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加，協力する態度を身に付け，現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見いだし，社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに，社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断し，その過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や，学び方を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	ノート プリント 出席状況	ノート プリント 定期考査	ノート プリント 定期考査	ノート プリント 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	私たちの生きる社会	・地球環境の危機、 ・さまざまな地球環境問題 ・問題可決の取り組み	○ ○ 	 ○ ○	○ ○	○ ○	a:地球環境問題と対する国際的な取り組みを理解し，持続可能な開発とは何かを考える態度を身につけている。 b:地球環境問題と資源エネルギーについて，具体的事例をもとに多面的・多角的に考察している。 c:地球環境問題に関する資料を，書籍・新聞・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集している。 d:地球環境問題が国際的な問題となっていることや，その解決に向けての取り組みについて理解し，知識を身につけている。	春期考査 ノート 作業プリント 出席状況
5月		・今日の資源・エネルギー-問題資源 ・循環型社会の形成	 ○	○ 	 ○	○ 	a: 資源・エネルギー問題について，自らの問題として考える態度を身につけている。 b: 資源・エネルギー問題について，具体的事例をもとに多面的・多角的に考察している。 c: 教科書に掲載されている資源・エネルギー問題に関する図版・写真・資料などを適切に使用している。 d: エネルギー利用の変化と石油の需給，原子力発電の課題についての知識を身につけている。	
6月		科学技術の発達と生命倫理 生と死をめぐる問題 脳死と臓器移植	○ ○	○ ○ 	 ○	 ○ ○	a: 科学技術の発達は，社会や生活をどのように変えてきたかを考え，理解しようとしている。 b: 科学技術がかかえる課題について，具体的事例をあげて多角的に考察している。 c: 教科書に掲載されている科学技術の発達に関する図版や写真を適切に使用している。 d: 科学技術の発達がもたらす問題点を理解し，知識を身につけている。	

7月		高度情報社会の到来 高度情報社会の課題	○ 	○ 	 ○	○ ○	a：高度情報社会のかかえるさまざまな問題について関心をもち，自分自身の問題として理解しようとする態度を身につけている。 b：高度情報社会の進展と私たちの生活について，具体的事例をあげて多角的に考察している。 c：教科書に掲載されている高度情報社会に関する図版や写真を適切に使用している。 d：高度情報社会の特質について理解し，それぞれの問題についての知識を身につけている。	夏期考査 ノート 作業プリント 出席状況
9月		青年期 適応と発達障害 進路と就職生活 哲学と人間 宗教と人間 現代に生きる倫理 日本人の思想と伝統 日本文化と伝統	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	a：青年期とは人生の中でどのような意味をもつのか考える態度を身につけている。 b：青年期の意義について，具体的な事例をもとに多面的・多角的に考察している。 c：教科書に掲載されている写真・図版・意識調査・資料などを適切に使用している。 d：青年期の意義や青年期の心理について，それらがどのようなものか理解している。	
10月・11月	現代の民主政治と民主社会の倫理	近代民主主義の原理 世界の政治体制 日本国憲法の成立と原理 自由権 法の下の平等 社会権 人権の保障と公共の福祉 現代社会と新しい人権	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a：日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較，天皇の地位，三つの基本原理について，主体的に理解しようとする態度を身につけている。 b：日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較，天皇の地位の変化，日本国憲法の三つの基本原理について，多面的に考察している。 c：日本国憲法の三つの基本原理について，さまざまな手段を活用して，情報を収集している。 d：日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較，天皇の地位の変化，日本国憲法の三つの基本原理についての知識を身につけている。	秋期考査 ノート 作業プリント 出席状況

11月	現代の民主政治と政治参加の意義	平和主義の精神 日本の安全保障 国会 内閣 裁判所 地方自治 政党政治 民主政治と選挙 民主社会の倫理	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心が高まっている。 b: 私たちの生活と政治や国家のかかわりについて，調査した内容を適切に表現する方法が身についている。 c: 私たちの生活と政治や国家のかかわりについて，書籍・インターネットから具体的事例を収集している。 d: 国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解している。	
12月 1月	現代の経済社会と経済活動のあり方	経済体制の変容 市場経済の仕組み 市場の失敗 現代の企業 国民所得と生活の豊かさ 経済成長と景気変動 公的部門の役割と租税 財政の現状と今後の課題 金融の仕組み 日本銀行と金融政策	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a:経済活動と自らの生活とのかかわりやそれに基づく課題を意欲的に追求し、課題解決にむけて多角的、多面的に考察する。 b: 経済活動に関わる事柄から課題を見いだし，その本質や特質，望ましい解決の在り方について様々な方法で適切に表現している。 c:経済活動に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。 d:経済活動の基本概念や、市場経済の仕組み、経済主体それぞれの役割などを理解する。	冬期考査 ノート 作業プリント 出席状況
2月	国際政治の動向と日本の役割	国家と国際政治 集団安全保障と国際連合 国際政治の歩み 核兵器と軍縮 人種・民族問題と地域紛争 国際社会と日本 貿易と国際分業 為替と国際収支 国際経済の動向 地域経済統合 経済援助と日本	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:経済のグローバル化についての諸課題を意欲的に追求し、多角的、多面的に考察する。 b:経済のグローバル化の本質や特質，望ましい解決の在り方について様々な方法で適切に表現している。 c:国際経済の現状に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。 d:国際分業や貿易、為替などの諸問題や政策、その現状などを理解する。	

		国家主権と国際法 国際連合の役割 第二次世界大戦後の国際社会 冷戦終結後の国際社会 核兵器の廃絶と国際平和 地域紛争と人種・民族問題 国境と領土問題 日本の役割と私たちの生き方	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 国際社会の動向について，理解しようとする態度を身につけている。 b: 国際社会の一員として私たちは何をすべきか，討論・発表などの方法を身につけている。 c: 国際社会の一員として私たちは何をすべきか，情報手段を用いて資料を収集し，主体的に考察している。 d: 国際社会の一員として何をすべきかを，理解している。	学年末考査 ノート プリント 出席状況

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。